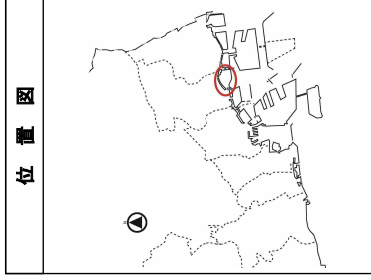


ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸タ イ プ	神戸港 直立護岸	域 管	御影・新在家 国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+2.8m	波 高 (H o)	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防、護岸、胸壁		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保 		
海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、胸壁等の改良・補修等を行う。 ・高潮・津波等に対する防護機能を確保する。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 		
海岸の環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
海岸の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。また、南海トラフ地震による津波等に対する整備を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 ・南海トラフ地震による津波対策等を実施し、防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長： 6,090m (2) 整備内容： 堤防、護岸、胸壁</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

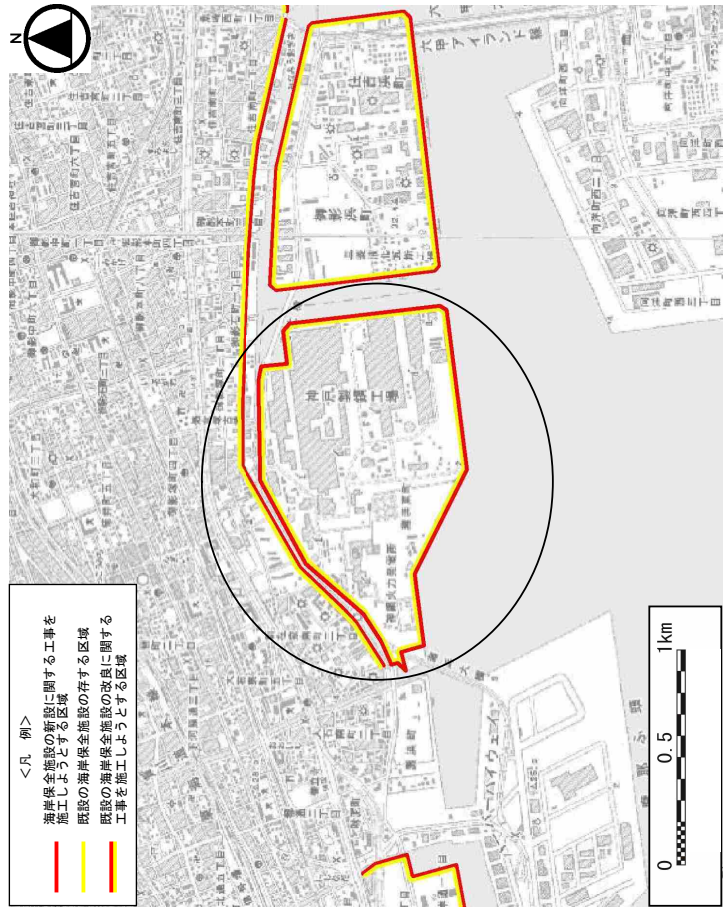
【現況写真】



位置図



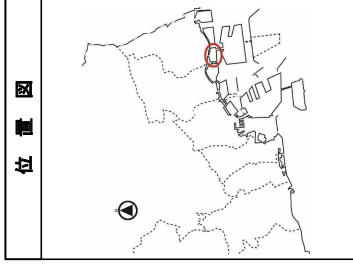
【平面図】



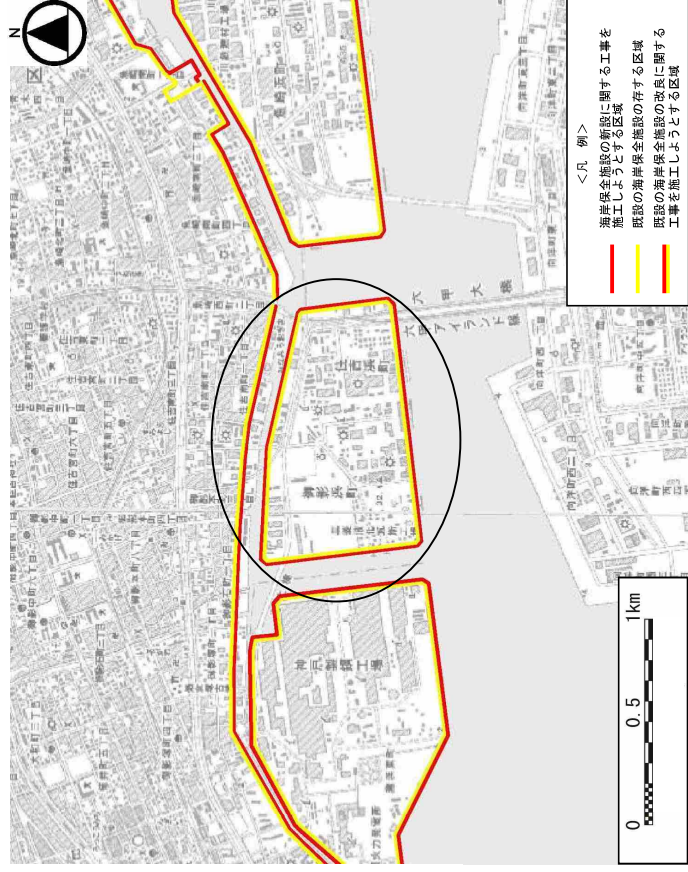
・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである（承認番号 平 27 情環、第 1119 号）
 ・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	神戸港	区域	御影・住吉（魚崎・御影）
海岸タイプ	直立式護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位（H.H.W.L.）	T.P.+2.8m	波高（H ₀ ）	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防		
海岸の整備方針	・防護機能の確保		
海岸の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、堤防等の改良・補修等を行う。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長： 5,856m（魚崎浜町含む）</p> <p>(2) 整備内容： 堤防</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマンナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

【現況写真】



【平面図】

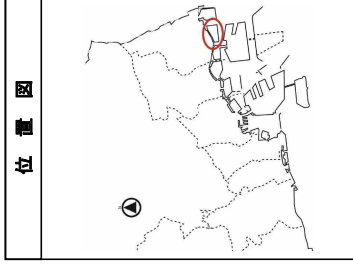


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の教値地図 200000（地図画像）及び教値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 27 情報、第 1119 号）

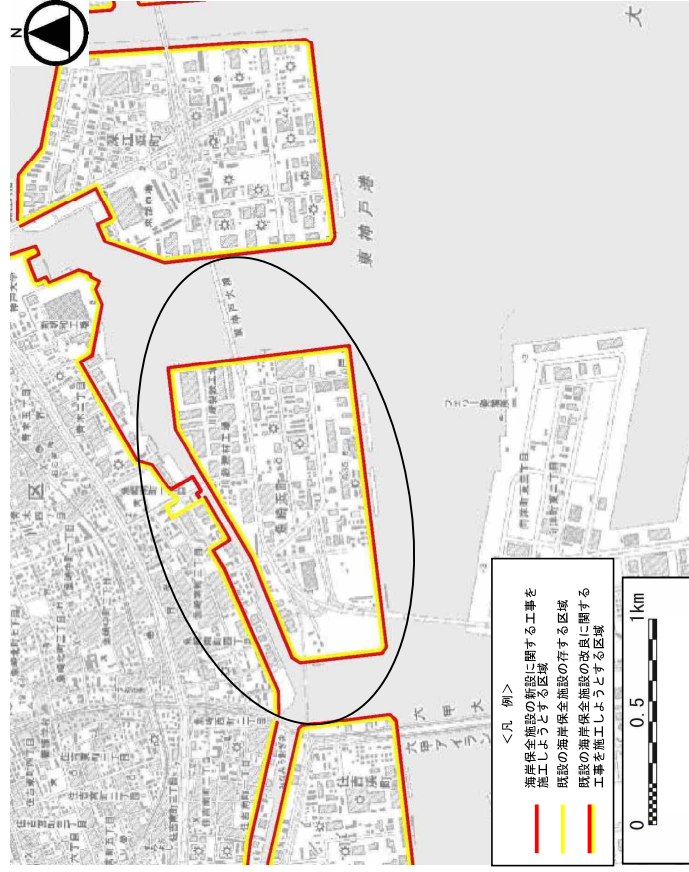
・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	神戸港	区域	魚崎浜町(魚崎・御影)
海岸タイプ	直立式護岸	管	国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+2.8m	波高(Ho)	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m~T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防		
海岸の整備方針	・防護機能の確保		
海岸の目標	・防護機能の維持に努め、堤防等の改良・補修等を行う。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。		
	・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。		
公衆の適正な利用	・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。		
整備の必要性	・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。		
整備計画の概要	・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 (1) 整備海岸延長：5,856m(御影・住吉含む) (2) 整備内容：堤防		
住民意見	・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備		
期待される効果	・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。		
海岸管理における配慮事項	・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマンナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。		

【現況写真】



【平面図】

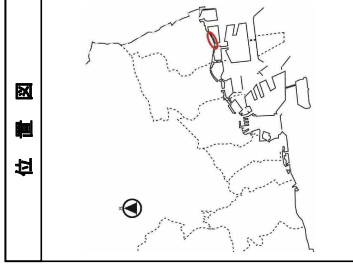


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の教員地図 200000 (地図画像) 及び教員地図 25000 (承認番号 平 27 情後、第 1119 号) を複製したものである。
 ・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。

区域番号：20

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	神戸港	区域	魚崎西
海岸タイプ	直立護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位(H.H.W.L.)	T.P.+2.8m	波高	(H o) 3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防、護岸、胸壁		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保 		
海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、胸壁等の改良・補修等を行う。 ・高潮・津波等に対する防護機能を確認する。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確認する。 		
海岸の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
公共の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確認する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。また、南海トラフ地震による津波等に対する整備を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確認する。 ・南海トラフ地震による津波対策等を実施し、防護機能を確認する。 <p>(1) 整備海岸延長：1,396m (2) 整備内容：堤防、護岸、胸壁</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

【現況写真】



【平面図】

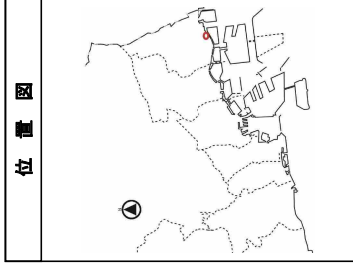
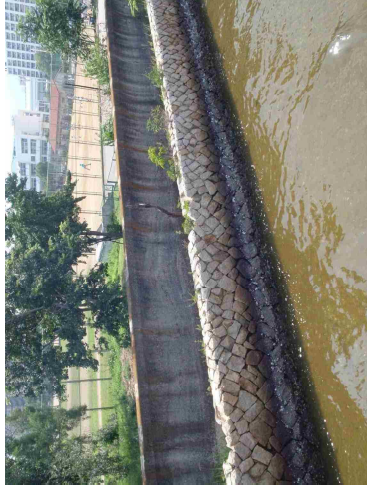


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000（地図画像）及び数値地図 25000（承認番号 平 27 情発、第 1119 号）を複製したものである。
この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

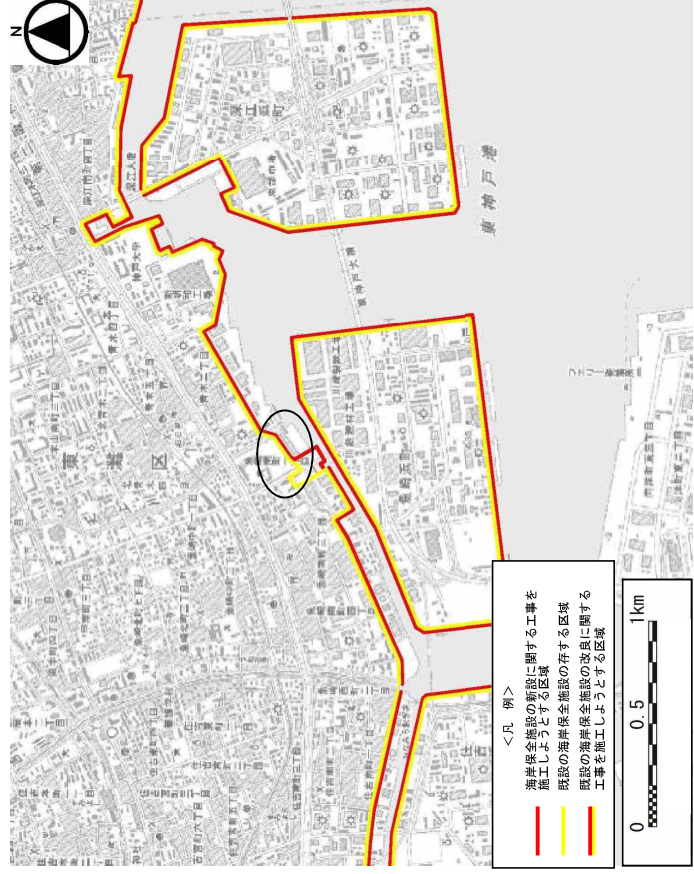
区域番号：21

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	神戸港	区域	魚崎東
海岸タイプ	直立護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位(H.H.W.L.)	T.P.+2.8m	波高	(H o) 3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防、護岸、胸壁		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保 		
海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、胸壁等の改良・補修等を行う。 ・高潮・津波等に対する防護機能を確保する。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 		
海岸の環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
公共の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。また、南海トラフ地震による津波等に対する整備を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 ・南海トラフ地震による津波対策等を実施し、防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長：420m (2) 整備内容：堤防、護岸、胸壁</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマンナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

【現況写真】



【平面図】

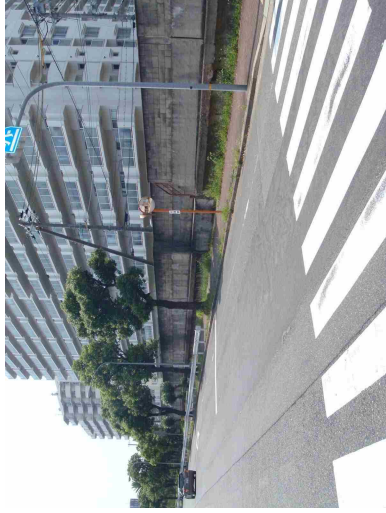


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000（地図画像）及び数値地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 27 情復、第 1119 号）

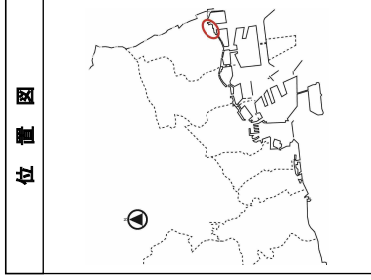
・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸タ イ プ	神戸港 直立護岸	区域 所	本庄西 国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+2.8m	波高(Ho)	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防、胸壁		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能の確保 		
海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能の維持に努め、胸壁等の改良・補修等を行う。 高潮・津波等に対する防護機能を確保する。 内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 		
海岸の環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> 海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
海岸の目標	<ul style="list-style-type: none"> 水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。また、南海トラフ地震による津波等に対する整備を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 南海トラフ地震による津波対策等を実施し、防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長： 2,490m (2) 整備内容： 堤防、胸壁</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> 内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 海岸利用のマナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 津波対策を地元と協力し、検討する。 		

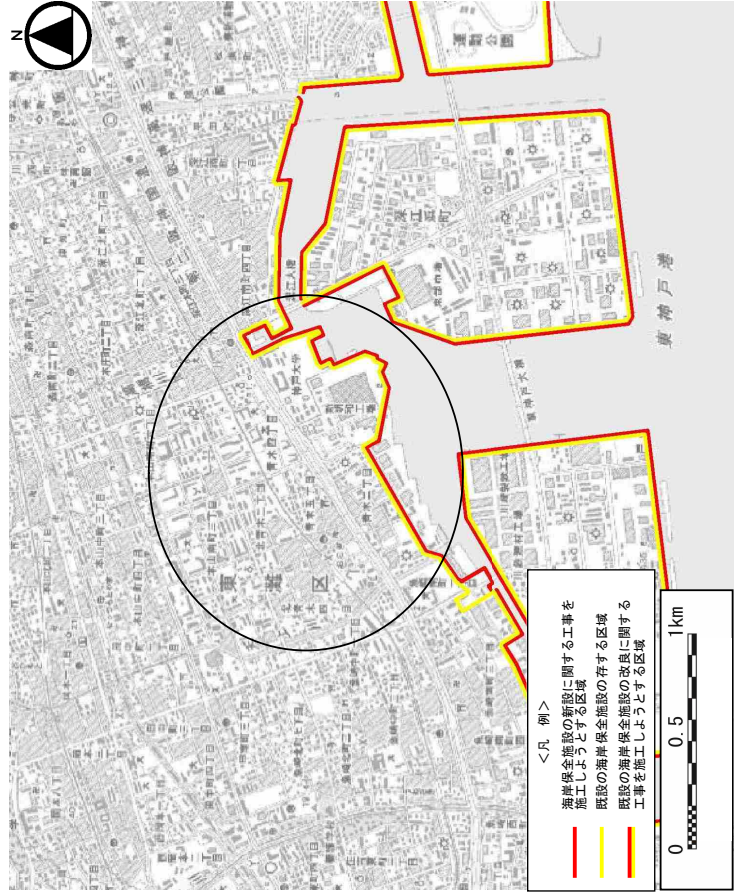
【現況写真】



位置図



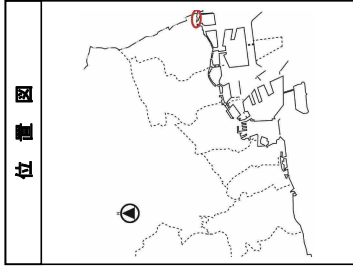
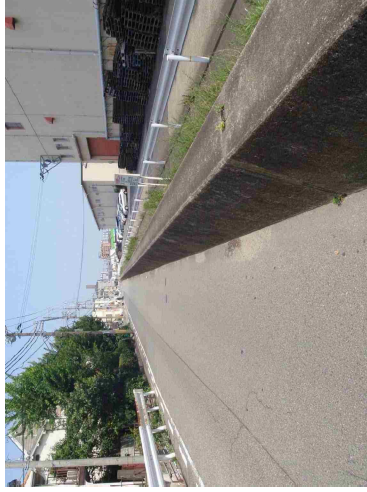
【平面図】



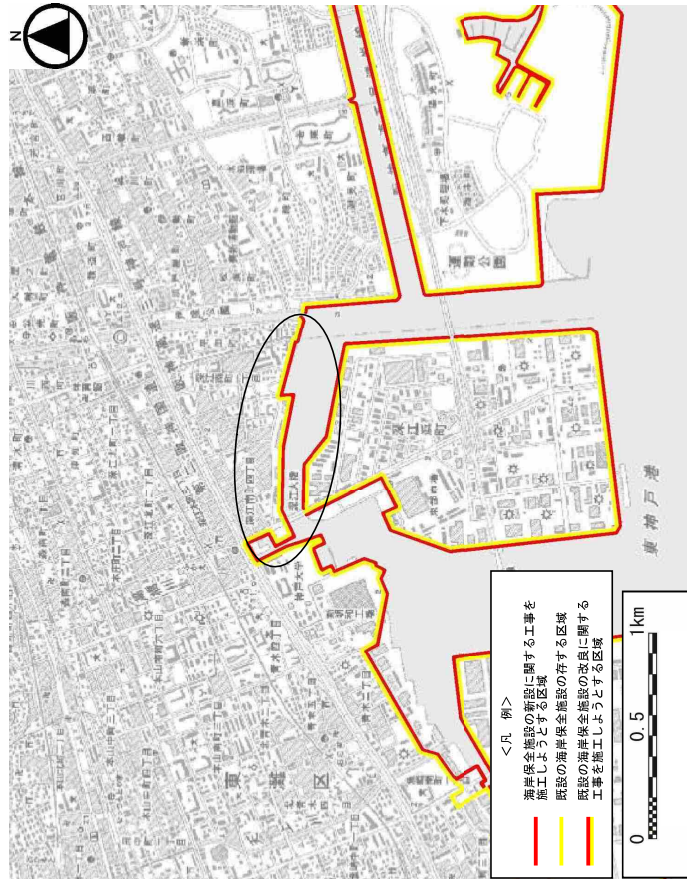
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平 27 情風、第 1119 号)
この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	神戸港	区域	本庄東
海岸タイプ	直立式護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位(H.H.W.L.)	T.P.+2.8m	波高 (H o)	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保 		
海岸の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、堤防等の改良・補修等を行う。 ・高潮・津波等に対する防護機能を確保する。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 		
環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。また、南海トラフ地震による津波等に対する整備を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 ・南海トラフ地震による津波対策等を実施し、防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長： 1,193m (2) 整備内容： 堤防</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・内陸防波堤の一部における旧天端高の復元 ・海岸線にアクセスできる「なぎさ海道」のような施設整備 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天端高不足の解消により、背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適なアクセスづくりやバリアフリー化を検討する。 ・海岸利用のマンナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

【現況写真】



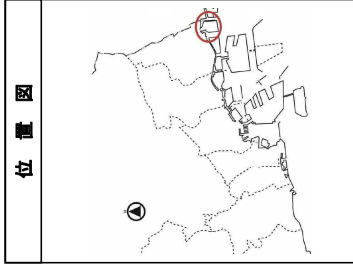
【平面図】



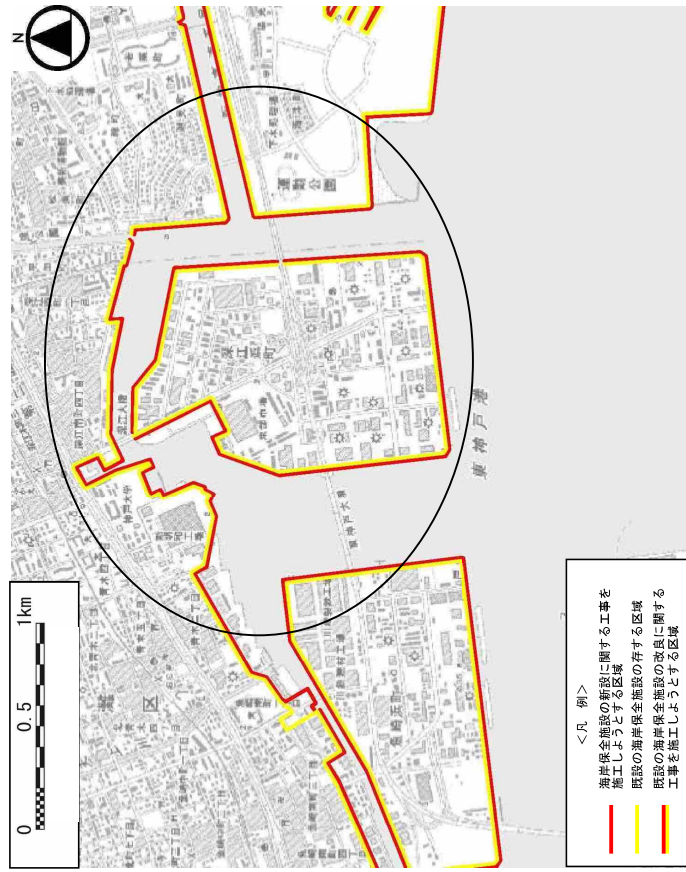
・この地図は、国土地理院院長の承認を得て、同院長の教員地図 200000（地図画像）及び教員地図 25000（承認番号 平 27 情復、第 1119 号）を複製したものである。
 ・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならない。

ゾーン名	灘・東灘ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸名	神戸港	区域	深江浜
海岸タイプ	直立護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位(H.H.W.L.)	T.P.+2.8m	波高	3.6m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	堤防、護岸、胸壁		
海岸の整備方針	・防護機能の確保		
海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、胸壁等の改良・補修等を行う。 ・内水排除対策と整合のとれた防護機能を確保する。 		
海岸の環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸愛護の啓発やボランティア活動の支援に努める。 		
公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水際線は産業活動などに利用されていることから、土地利用の変化等により多くの人の海岸利用が可能となれば、多くの人が水辺に親しめるような整備を図る。 		
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・高潮や津波等に対する防護機能を確保する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い、予防保全の観点から、適切な改良等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している海岸保全施設の改良・補修等により防護機能を確保する。 <p>(1) 整備海岸延長： 4,942m</p> <p>(2) 整備内容： 堤防、護岸、胸壁</p>		
住民意見	現在の港湾荷役に支障がない整備		
期待される効果	・海岸保全施設の整備により背後地の安全性の向上が図られる。		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸利用のマナーの向上、ルールづくり、美化運動などを推進する。 ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 ・関係機関と協議し、海岸保全施設の操作体制や防災情報伝達体制、避難体制の強化を図る。 ・津波対策を地元と協力し、検討する。 		

【現況写真】



【平面図】



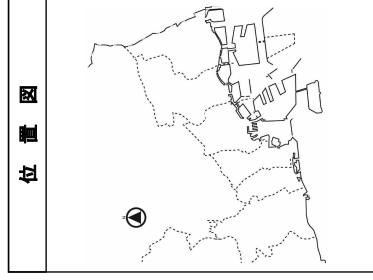
・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院長の教員地図 200000（地図画像）及び教員地図 25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 27 情報、第 1119 号）

・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

区域番号：25

ゾーン名	長田・兵庫、中央・灘・東灘	エリア	環境創造・活性化エリア
海岸タ イ プ	神戸港	区 域	神戸市
設計高潮位(H.H.W.L)	—	所 管	国土交通省(港湾局)
代表堤防高	T.P.+2.8m	波 高 (H o)	4.6m
設計津波水位	—	現 況 の 堤 防 高	—
現 況 の 施 設	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m 排水機場、水門		
海岸の整備方針	・ 防護機能の確保		
海岸の目標	海岸の防護	・ 防護機能の維持に努め、必要に応じて改良・補修を行う。	
	環境の整備と保全	—	
	公衆の適正な利用	—	
整備の必要性	・ 排水機場の老朽化が見られるため、高潮防護機能を確保する。		
整備計画の概要	・ 老朽化している排水機場の改良等により防護機能を確保する。 (1) 整備海岸延長： 8 箇所 (2) 整備内容： 排水機場、水門		
住民意見	—		
期待される効果	・ 老朽化している排水機場の改良により、背後地の安全性の向上が図られる。		
海岸管理における配慮事項	・ 海岸保全施設の適切な維持管理を図る。		

【現況写真】



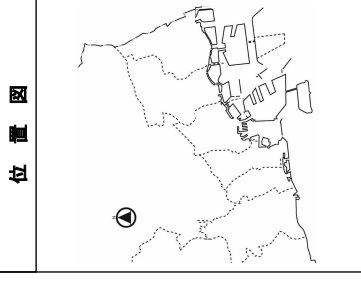
【平面図】



・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平 27 青環、第 1119 号)
・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	長田・兵庫、中央・灘・東灘	エリア	特性	環境創造・活性化エリア
海岸タ イ プ	神戸港	区 所	域 管	神戸市 国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+2.8m	波 高	(H o)	4.6m
代表堤防高	—	現 況	堤 防 高	—
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m			
現況の施設	防潮鉄扉、水門			
海岸の整備方針	・ 防護機能の確保			
海岸の目標	海岸の防護	・ 防護機能を確実に機能させるため、遠隔操作化等を行う。		
	環境の整備と保全	—		
	公衆の適正な利用	—		
整備の必要性	・ 津波発生時において防潮鉄扉及び水門を迅速かつ確実に閉鎖する必要がある。			
整備計画の概要	・ 遠隔操作化等により津波発生時の防護機能を確認する。 (1) 整備海岸延長： 53 箇所 (2) 整備内容： 防潮鉄扉、水門			
住民意見	—			
期待される効果	・ 津波発生時に防潮鉄扉及び水門を迅速かつ確実に閉鎖できることにより、防潮機能を確認できる。			
海岸管理における配慮事項	・ 海岸保全施設の適切な維持管理を図る。			

【現況写真】



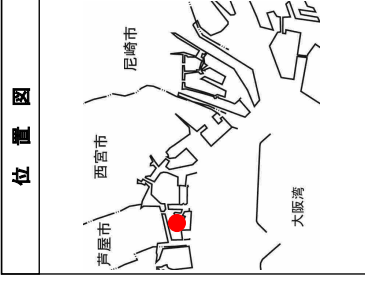
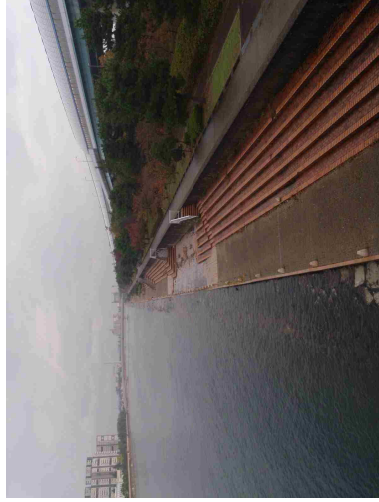
【平面図】



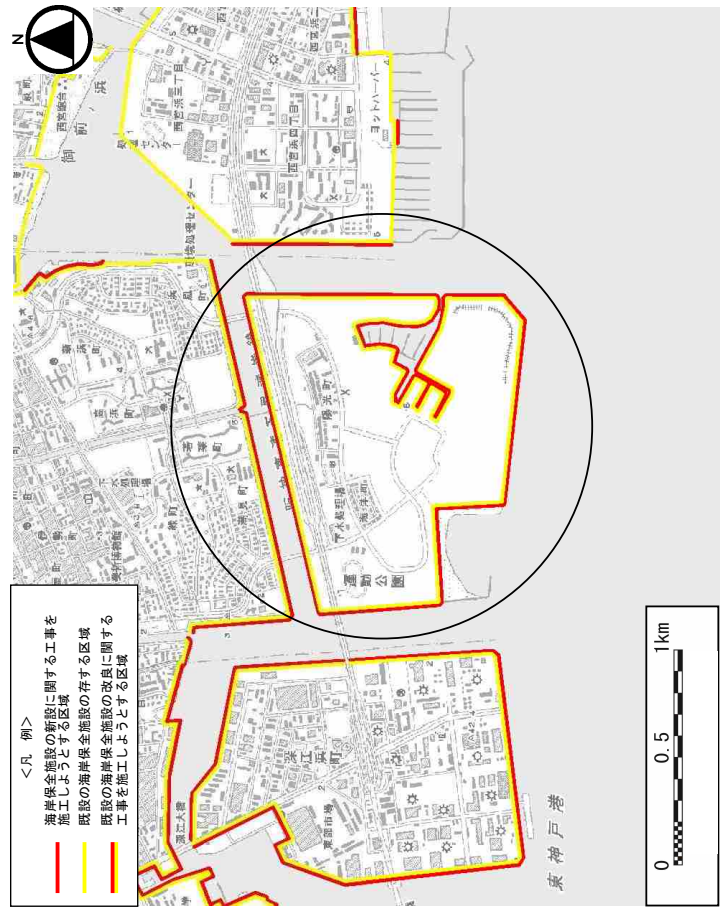
・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 27 青環、第 1119 号）
 ・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	芦屋ゾーン	エリア特性	環境創造・楽しみエリア
海岸地名	尼崎西宮芦屋港	区	南芦屋浜
海岸タイプ	直立護岸	所	国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+3.6m	波高	(H o) 4.8m
設計津波水位	T.P.+1.4m~T.P.+3.1m		
現況の施設	護岸		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保・親水性の向上と海岸利用の促進 		
海岸の目標	海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。 	
	環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸景観の保全・創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。 	
	公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋性レクリエーションの利用空間と地域環境の調整を図る。 ・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。 	
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設が老朽化しているため、高潮防護機能を確保する。 ・高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の高上げ等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の改良・補強等を行う。 <p>(1) 整備海岸延長： 7,400m</p> <p>(2) 整備内容： 護岸</p>		
住民意見	—		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽箇所の解消により背後地の安全性の向上が図られる。 ・高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による海岸美化活動の推進 ・アクセシビリティの向上とバリアフリー化の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり(とくに海岸利用と地域環境との調整) ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

【現況写真】



【平面図】

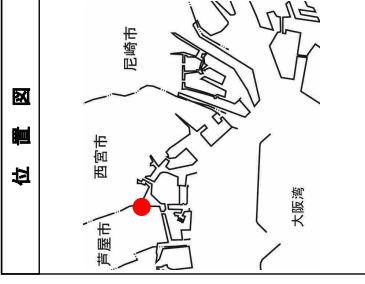
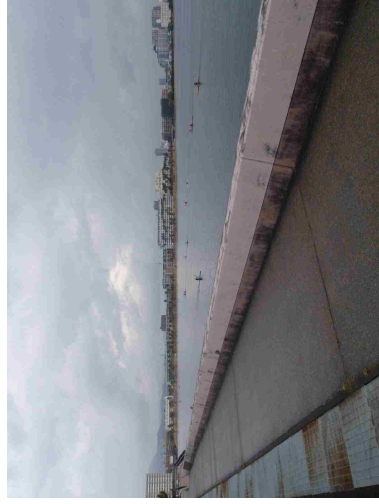


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平 27 情販、第 1119 号)

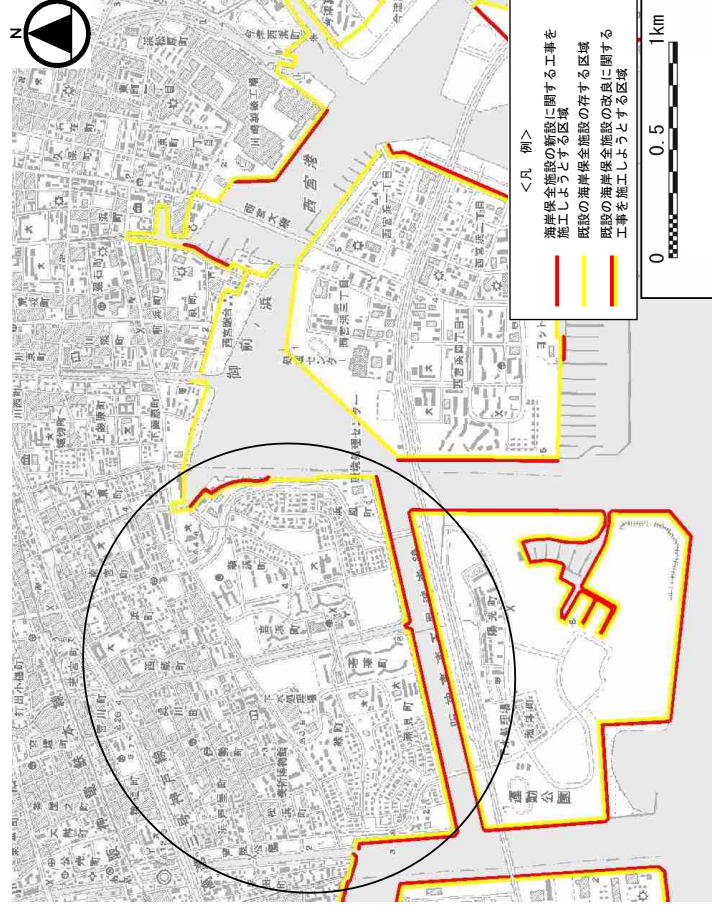
・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならない。

ゾーン名	芦屋ゾーン	エリア特性	環境創造・楽しみエリア
海岸タ イ プ	尼崎西宮芦屋港 直立護岸	区域管 波 高	芦屋浜 国土交通省(港湾局) (H o) 4.8m
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+3.6m		
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	護岸		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の確保・親水性の向上と海岸利用の促進 		
海岸の目標	海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。 	
	環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸景観の保全・創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。 	
	公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋性レクリエーションの利用空間と地域環境の調整を図る。 ・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。 	
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設が老朽化しているため、高潮防護機能を確保する。 ・高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の嵩上げ等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の改良・補強等を行う。 (1) 整備海岸延長： 3,020m (2) 整備内容： 護岸 		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地先住民から、瀬水護岸整備の要望が出ている。 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽箇所の解消により背後地の安全性の向上が図られる。 ・高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による海岸美化活動の推進 ・アクセス性の向上とバリアフリー化の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり(とくに海岸利用と地域環境との調整) ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

【現況写真】



【平面図】



・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000 (地図画像) 及び数値地図 25000 (地図画像) を複製したものである。
(承認番号 平 27 情環、第 1119 号)

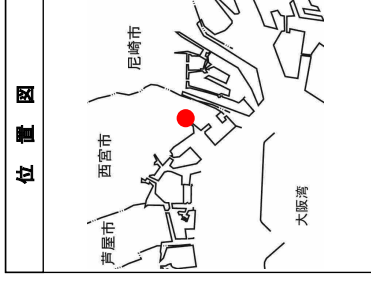
・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	西宮沿岸部ゾーン	エリア特性	環境創造・楽しみエリア
海岸タ イ プ	尼崎西宮芦屋港 直立護岸	区域	鳴尾川
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+3.6m	管	国土交通省(港湾局)
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m	波高(Ho)	4.8m
現況の施設	堤防、護岸、胸壁、陸間		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能の確保・親水性の向上と海岸利用の促進 		
海岸の目標	海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> 防護機能の維持に努め、堤防、胸壁の改良・補強等を行う。 	
	環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> 貴重な自然環境の保全に努める。 海岸景観の保全・創造に努める。 環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。 	
	公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の再開発と連携し、より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。 	
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 海岸保全施設の老朽化に加え、海岸へのアクセス不良が海岸利用の障害となっているため、整備を促進し、高潮防護機能を確保するとともに、親水性を向上させる。また、南海トラフ地震に対する耐震性能を強化する。 南海トラフ地震に対する耐津波対策を行う。 老朽化している海岸保全施設の改修を行う。 高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の嵩上げ等を行う。 堤防、胸壁の改良・補強等や耐震性能の強化を行う。また、海岸へのアクセスを向上させ、親水性豊かな多様なレクリエーションに対応した整備を行う。 		
整備計画の概要	<p>(1) 整備海岸延長： 2,530m</p> <p>(2) 整備内容： 堤防、胸壁</p>		
住民意見	<ul style="list-style-type: none"> 植栽による景観創造 海岸利用と地域環境の調整 		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> 老朽箇所の解消及び耐震性能の強化により背後地の安全性の向上が図られる。 海岸へのアクセス性の向上により、親水性の高い魅力ある海岸の創出が図られる。 高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における課題	<ul style="list-style-type: none"> 住民参加による海岸美化活動の推進 アクセス性の向上とバリアフリー化の推進 海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 海岸利用のルールづくり(特に海岸利用と地環境との調整) 海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

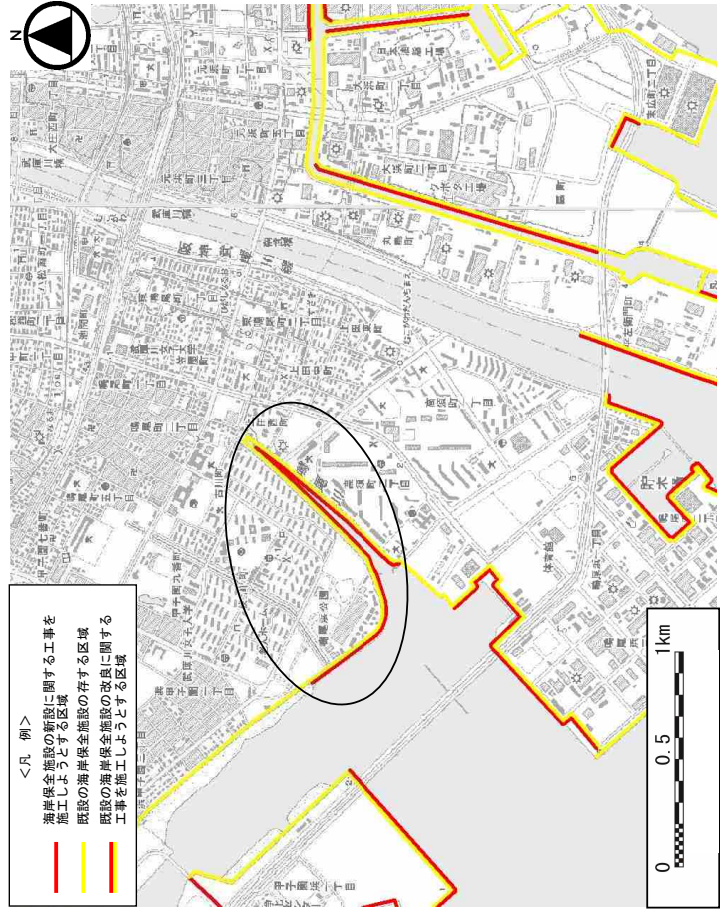
【現況写真】



位置図



【平面図】

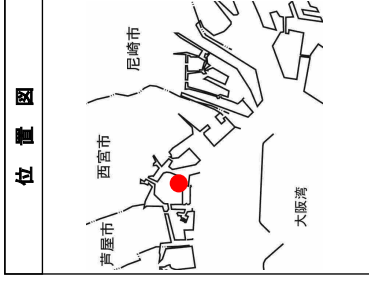
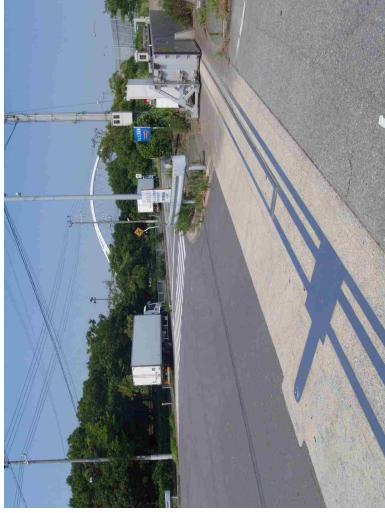


・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平 27 情保、第 1119 号)
 ・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

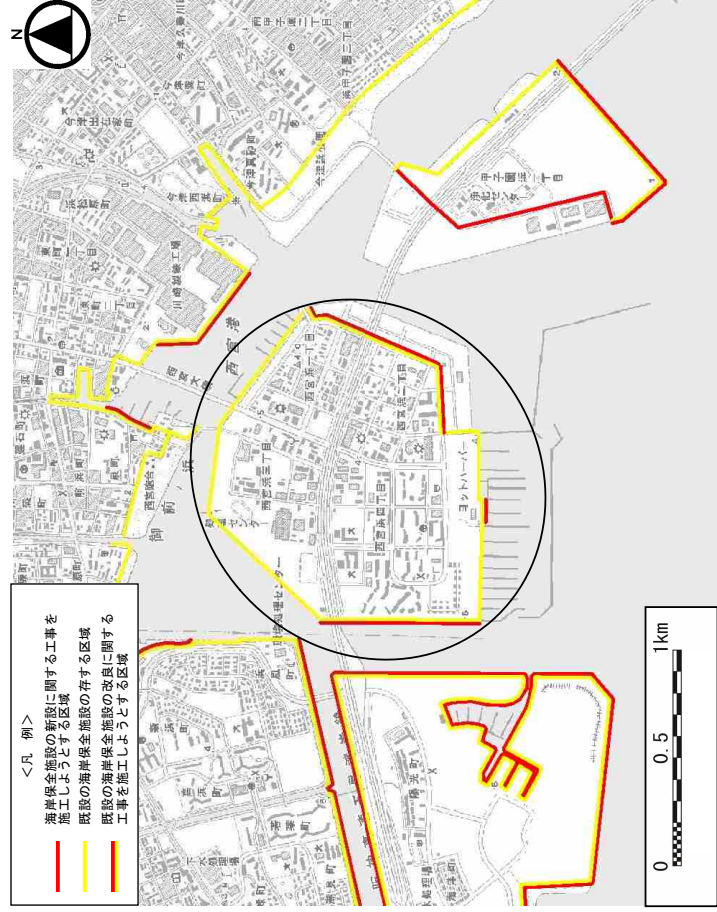
区域番号：30

ゾーン名	西宮埋立部ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	尼崎西宮芦屋港	区域	西宮浜
海岸タイプ	直立護岸	管	国土交通省（港湾局）
設計高潮位（H.H.W.L.）	T.P.+3.6m	波高（H ₀ ）	4.8m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	護岸、陸間		
海岸の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・管理・利用時の安全性の向上、防護機能の確保 		
海岸の目標	海岸の防護	<ul style="list-style-type: none"> ・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。 	
	環境の整備と保全	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸景観の保全・創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。 	
	公衆の適正な利用	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。 	
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の老朽化に加え、震災による沈下で傾斜しており、管理面や利用面で不都合が生じている。また、南海トラフ地震に対する耐津波性能を強化する。 ・高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の嵩上げ等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の改良・補強等や耐津波性能の強化を行う。 <p>(1) 整備海岸延長： 3,220m</p> <p>(2) 整備内容： 護岸</p>		
住民意見	—		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理する際や利用する際の安全性の向上が図られる。また、老朽箇所の解消及び耐津波性能の強化により背後地の安全性の向上が図られる。 ・高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による海岸美化活動の推進 ・アクセス性の向上とバリアフリー化の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

【現況写真】



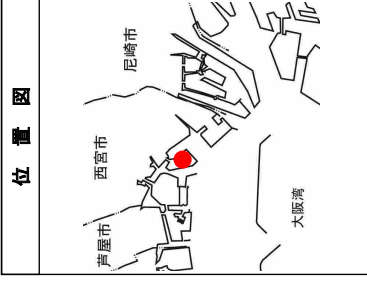
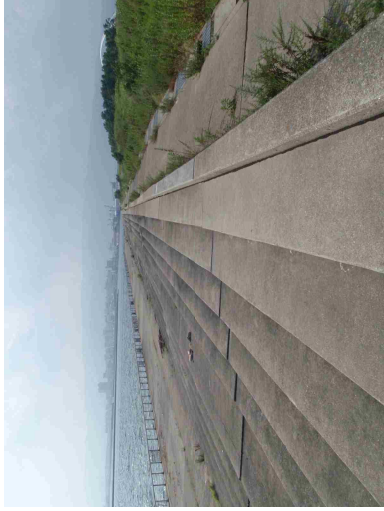
【平面図】



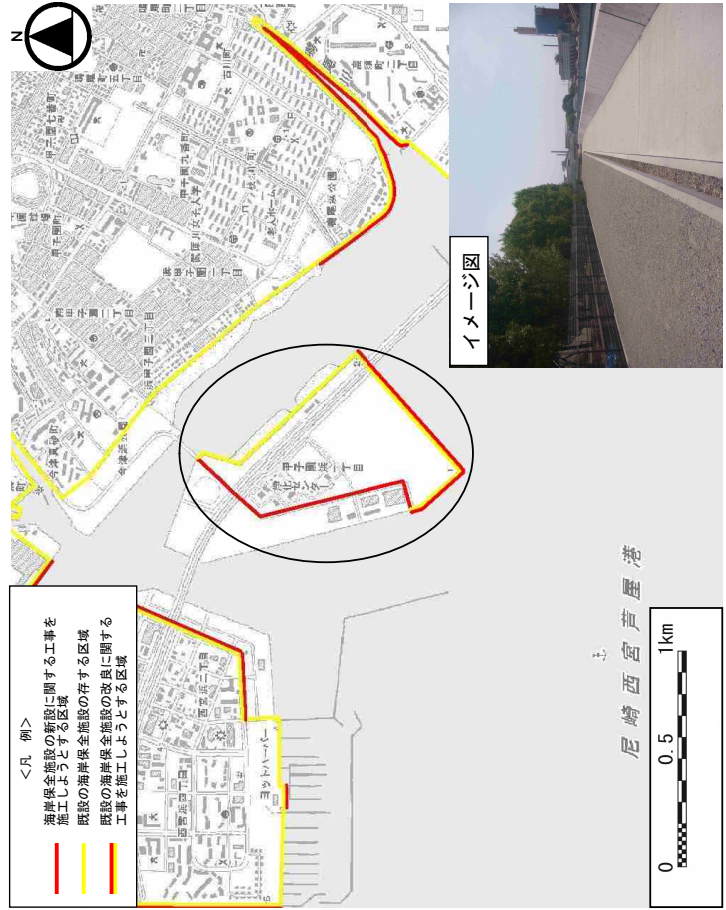
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平27情保、第1119号）
この地図をさらに複製する場合は、国土地理院長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	西宮埋立部ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸地名	尼崎西宮芦屋港	区	甲子園浜
海岸タイプ	直立護岸	所	国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+3.6m	波高	(H o) 4.8m
設計津波水位	T.P.+1.4m～TP.+3.1m		
現況の施設	護岸、陸棚		
海岸の整備方針	・防護機能の確保		
海岸の目標	海岸の防護	・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。	
	環境の整備と保全	・海岸景観の保全・創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。	
	公衆の適正な利用	・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。	
整備の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設が老朽化しているため、高潮防護機能を確保する。また、南海トラフ地震に対する耐津波性能を強化する。 ・高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の嵩上げ等を行う。 		
整備計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・護岸の改良・補強等や耐津波性能の強化を行う。 <p>(1) 整備海岸延長： 3,250m</p> <p>(2) 整備内容： 護岸</p>		
住民意見	—		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽箇所の解消及び耐津波性能の強化により背後地の安全性の向上が図られる。 ・高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。 		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による海岸美化活動の推進 ・アクセス性の向上とバリアフリー化の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり(特に海岸利用と地域環境との調整) ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

【現況写真】



【平面図】

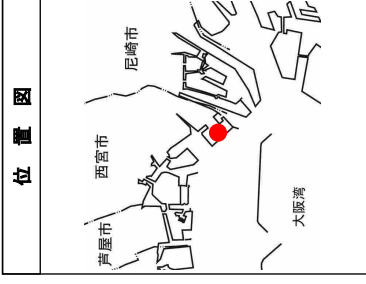
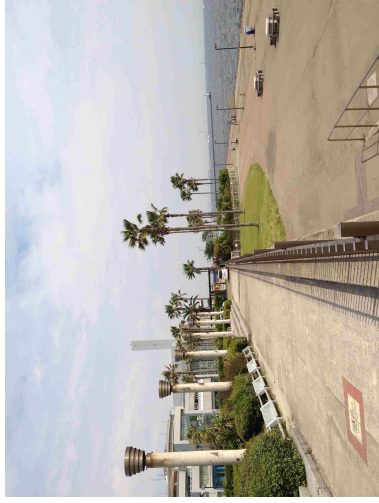


この地図は、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである(承認番号 平 27 情保、第 1119 号)

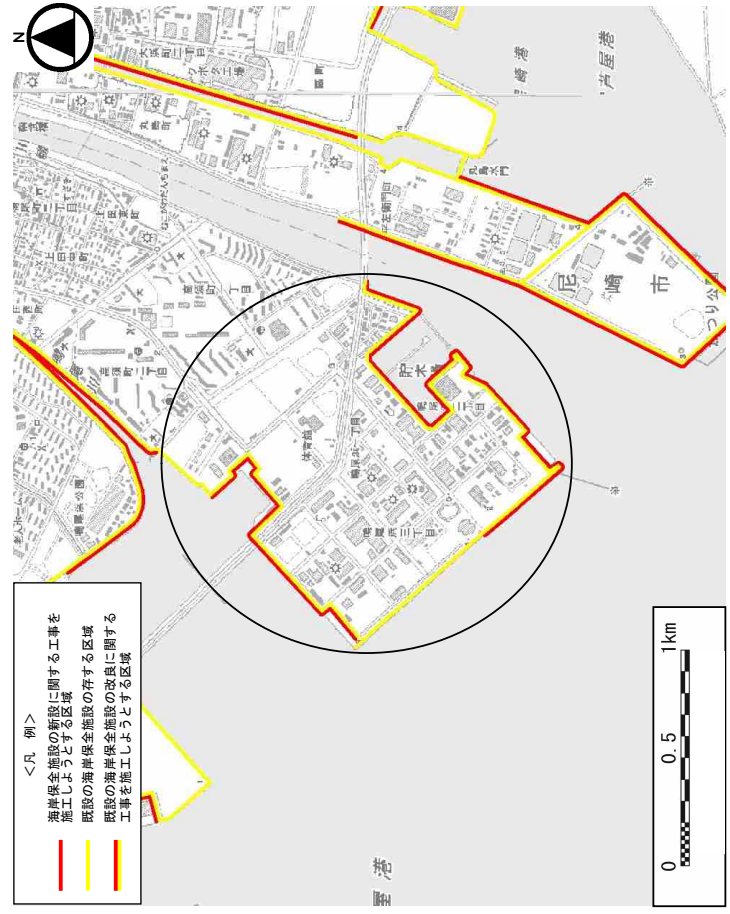
この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	西宮沿岸部ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸タアイブ	尼崎西宮芦屋港 直立護岸	区域	鳴尾浜 国土交通省(港湾局)
設計高潮位(H.H.W.L)	T.P.+3.6m	管波高(Ho)	4.8m
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	護岸、防潮堤、陸間		
海岸の整備方針	・防護機能の確保		
海岸の目標	海岸の防護	・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。	
	環境の整備と保全	・海岸景観の保全・創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。	
	公衆の適正な利用	・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。	
整備の必要性	・海岸保全施設の老朽化に加え、震災による損傷箇所や天端高不足が見られるため、整備を促進し高潮防護機能を確保する。また、南海トラフ地震に対する耐震性、耐津波性能を強化する。 ・高潮に対する防護機能を確保するため、海岸保全施設の嵩上げ等を行う。		
整備計画の概要	・護岸の嵩上げや、改良・補強等、耐震性、耐津波性能の強化を行う。 (1) 整備海岸延長： 4,650m (2) 整備内容： 護岸		
住民意見	—		
期待される効果	・老朽箇所・損傷箇所や天端高不足の解消及び耐震性、耐津波性能の強化により背後地の安全性の向上が図られる。 ・高潮対策により背後地の安全性の向上が図られる。		
海岸管理における配慮事項	・住民参加による海岸美化活動の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。		

【現況写真】



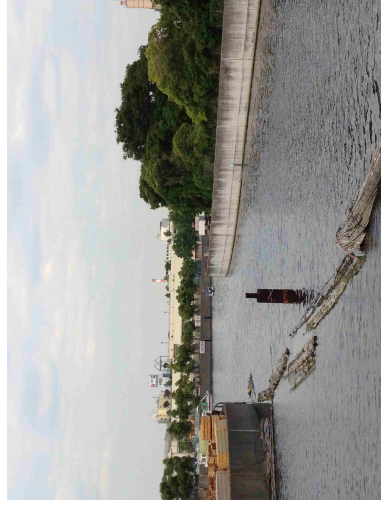
【平面図】



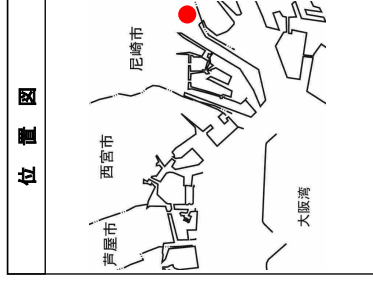
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである（承認番号 平 27 情販、第 1119 号）
この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。

ゾーン名	尼崎運河部ゾーン	エリア特性	環境創造・活性化エリア
海岸タ イ プ	尼崎西宮芦屋港 直立護岸	区域管 波 高 (H o)	東播運河 国土交通省 (港湾局) 0.5m
設計高潮位 (H. H. W. L.)	T.P.+0.6m		
設計津波水位	T.P.+1.4m～T.P.+3.1m		
現況の施設	護岸		
海岸の整備方針	・防護機能の確保・親水性の向上と海岸利用の促進		
海岸の目標	海岸の防護	・防護機能の維持に努め、護岸の改良・補強等を行う。	
	環境の整備と保全	・「尼崎21世紀の森構想」と連携し、良好な海岸景観の創造に努める。 ・環境の維持活動について、地域の協力や住民の参加を促進する。	
	公衆の適正な利用	・地域住民に親しまれる水辺空間の創出を図る。 ・より多くの人が安全に利用できる海岸づくりを進める。	
整備の必要性	・海岸保全施設が老朽化しているため、高潮防護機能を確保する。 ・老朽化している海岸保全施設の改修を行う。		
整備計画の概要	・護岸の改良・補強等により防護機能を確保する。 (1) 整備海岸延長： 1,400m (2) 整備内容： 護岸		
住民意見	—		
期待される効果	・老朽箇所の解消により背後地の安全性の向上が図られる。		
海岸管理における配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事や活動などに利用できる海岸づくり ・住民参加による海岸美化活動の推進 ・アクセス性の向上とバリアフリー化の推進 ・海岸利用者へのマナー向上のための啓発活動 ・海岸利用のルールづくり ・海岸保全施設の適切な維持管理を図る。 		

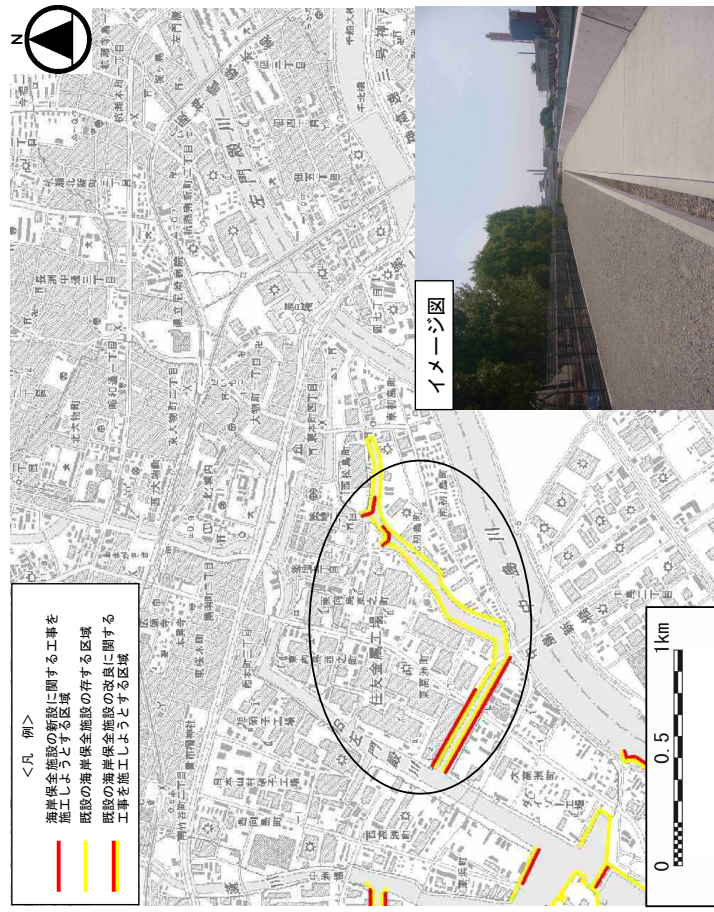
【現況写真】



位置図



【平面図】



・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000（地図画像）及び数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平 27 情販、第 1119 号）

・この地図をさらに複製する場合は、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。